

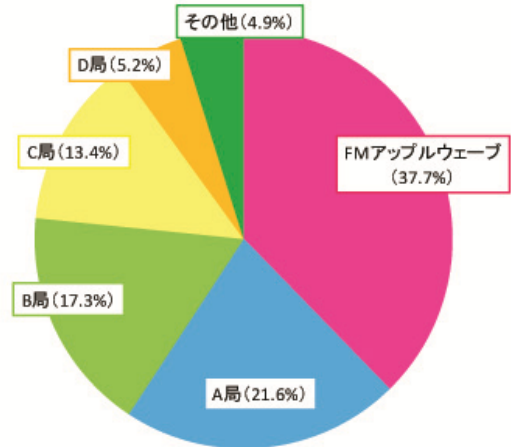
FMアップルウェーブのラジオ占有率は、約38%でトップを堅持

2013/9/15

2013年9月15日（日）、カルチャロードにおけるアンケート調査で、FMアップルウェーブはラジオ占有率1位を堅持しました。

以下、今回の調査結果の主な特徴を列挙します。

*SKK総合研究所が実施した「ラジオに関するアンケート調査」（2013年）より

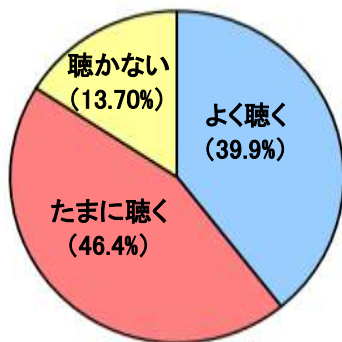


時間帯による占有率	昼が43%と最も高く、ついで夕方が40%となっていた
年代別の占有率	40歳代 53%、30歳代 44%、10歳代 42%、20歳代 38% *60歳代以上では、RABラジオに対する占有率が高くなっていた
男女別の占有率	男性 36%、女性 40%であった
職業別の占有率	小・中学生 90%、公務員 71%、団体職員 45%、主婦 42%
場所による占有率	車で47%、家で37%、職場で30% *仕事の移動中に聴くが多く、通勤途中、仕事をしながらも多かった
好きな番組ジャンル	地域の話 22%、音楽番組 18%、お天気・交通・空席情報 11% 観光・祭り（イベント）情報 11%、スポーツ情報 9%

ラジオを聴く人は、意外に多い

よく聴く・たまに聴くを併せると実に約86%

ラジオを聴いている人は…



日本新聞協会（2011年全国メディア接触・評価調査）による各メディアの接触率は、テレビ視聴率が最も高く99%、ついで新聞読取率が87%であったが、ラジオ聴取率は55%とメディア接触率が最低であった。

FMアップルウェーブ可聴エリアにおいてはラジオへの接触率は、86%と全国平均の1.5倍となっており、宣伝媒体としてのラジオは、極めて有効な手段の1つであるといえます。